

# 平成十三年度 文学部卒業論文題目一覧

## 哲学 科(昼間コース)

構造主義論

自ら死ぬことについて

専業主婦の幸せ

「差別」と「偏見」〜同和問題とは何か〜

笑いの研究

人間と社会

シヨパン論

ダンテ『神曲』研究

愛についての哲学的考察

サッカーのブームとその社会的背景について

サルトルの実存主義哲学

グリム童話の比較研究

現代日本の芸術についてのあり方

遊びの哲学

人間とアナーキズム

自己と他者

リッケルト哲学における価値の問題

協同性に向けて

人間性について

個人主義のアイロニー

レヴィ・ストロース研究

大人と子どもの死のとらえ方

プルースト「失われた時を求めて」研究

「祭」の研究

ロック音楽についての一考察

「生」について

ケルト民族文化

スポーツの哲学的研究

存在から、存在

ミヒヤエル・エンデについての一考察

ケルト神話の世界観について

チャールズ・チャップリン論

人生の意味について

日本におけるキリスト教と社会福祉

時間と運動について

20世紀音楽についての一考察

愛を乞う人

キリスト教の道徳観

ステージ形式の研究

写真は何を語りうるか

「グラマトロジーについて」の一考察

箱崎 充代  
高橋 優介  
堀内 綾  
吉川 和寛  
上村 正次  
小野寺 直哉  
植木 理恵  
飯塚 宗光  
黒澤 美保  
及川 幸一  
加藤 景子  
梶塚 沙千代  
尾崎 真樹  
室井 恵  
沢辺 俊彦  
千葉 靖彦  
渡邊 与一  
織田 鉄也  
菊池 薫  
大磯 章生

菅原 亮治  
小野 介也  
永江 陽一郎  
粕谷 律子  
村山 護一  
小林 真晋  
木村 明博  
宮崎 稔広  
木村 史人  
鈴木 貴敬  
鈴木 貴裕  
石沢 修一  
大橋 登  
春原 亜矢子  
川島 健児  
小川 一輝  
福田 藍子  
中嶋 恵  
森 将良  
川人 麗子  
宮本 泰子

人間と宗教	本間 克紀	無から宇宙生成について	宗 像 玲子
アリストテレスの『形而上学』		現存在の現象学的構造	佐 藤 亜 希
における存在論の可能性	小 暮 昌 彦	レヴィナスの他者論	宮 内 良 太
平和の哲学的考察	高 橋 勝 彦	住空間における思想と生活	横 山 剛 治
『あなたがもし奴隷だったら…』		親の養育態度と子どもの性格形成	芹 川 美 穂
についての哲学的思考	西 村 正 嗣	友人関係場面における親の養育態度の影響	岡 田 舞
依存についての哲学的考察	村 形 裕 樹	自己認識欲求と友人関係について	田 中 祐 樹
死と死を歌う音楽について	吉 生 壮 一	子どものストレスによる移行対象	丸 岡 智 子
現代人のアイデンティティーの確立について		目的達成意欲に関する一研究	藤 平 進 也
—身体装飾の観点から—	嵐 岡 悟	大学生の失恋観について	相 澤 絹 代
バタイユ研究	高 橋 保 彦	性格が及ぼす死に対する認識	関 谷 美 希 子
自己決定権の在り方について	加 藤 千 恵	現代の若者に音楽が及ぼす	
意味について	山 口 正 義	心理的效果についての研究	荻 原 利 晃
現代社会における生命観	名 城 拓 馬	出生順位が性格形成に与える影響について	渡 邊 洋 一
対話	茂 木 俊 知	母親イメージと充実感の関連について	細 川 亜 希
美とは何か	渡 瀬 悠 子	達成動機から見た生きがい感スケール	川 崎 智 之
科学的思想について	野 口 岳 夫	大学生における意欲減退の対象と	
バタイユ研究	坂 野 哲 平	その原因について	山 家 悠
古代ギリシアにみる愛(エロース)が		大学生のヒューマンサポートが	
現代へ投げかけるもの	宗 川 伸 悟	ストレス反応におよぼす影響	田 中 涼 子
生存権についての哲学的考察	高 原 功 次	大学生の達成感についての一研究	照 井 暁 子
実存的不自由な愛の幸福論	深 山 綾 太 郎	大学生における自己呈示とその性差についての一研究	
『風と木の詩』における愛について	水 戸 綾 子	〜就職試験の面接時と日常生活での相違〜	大 和 田 由 梨
ツァラトゥストラ読解	増 井 将 人	事象間の意味付けをする人の特徴	高 木 恩

帰属スタイルと無力感・不安感の関係について 抑うつと自己評価の関係について 人間関係における仮面的自己提示に関する研究 対人関係における感情について MPI性格類型とストレスとの関係 暴力と性格特徴の相関性 性差における無気力の構成要素の差 親の養育態度と後の対人関係(行動) の関連について	桃原正嗣 沖野洋 野島文 横瀬務 戸田泰仁 石田絢子 藤田武志 渡邊桃子 野村美幸 多川晶 高野洋介 樋口恒央 橋本和樹	恋愛スタイルの研究 ユーモア態度志向と性格特性の関係について 孤独感の類型と人格特徴との関連について 親の養育態度が子供に及ぼす影響について 現代大学生の恋愛と結婚の価値観について 自己意識と恥における一研究 両親の養育態度が及ぼす子供への影響 不安傾向と抑うつ性との関係について 現代人のゆとりの調査とそれに対する 喫煙の効果について 対人行動における情緒の一研究 無気力傾向の有無による将来展望の違い 出生順位が性格特性に与える影響について 家族との心理的距離の研究 自尊心とうつ傾向の関係について 家族機能の違いによる自己開示 無気力傾向の高い学生の性格特徴 青年の生と死に対するイメージ 孤独感における一研究 楽観主義を規定する要因についての研究 目撃記憶の影響要因に関する分析的研究 出生順位における性格特性の違い についての一研究	黛知宏 大角知孝 小谷麻里子 菅野有希 石水美穂 長谷竜也 安宅奈津子 高橋浩基 山本一輝 柏木陽子 押田剛 高橋敦子 小川歩 宮崎江梨子 木下揺生 牧野真太郎 鷲崎俊介 飯塚真有子 茂木佳奈子 田村裕 若林郁江 大濱樹
いじめと家庭環境の関連について 青年期の対人関係と孤独感についての研究 読みの範囲に最適な命題の数について 対人場面におけるためらいについての一研究 心身障害児に対するイメージ及び態度について 大学生の恋人同志での ドメスティック・バイオレンス 自尊感情と対人ストレスについての一研究 不登校傾向とその対策 説得におけるメッセージの与え方と関与の効果 被服と性格の関係について 子どもがストレスを感じる時 ・その対処法について 日常生活のテーマ選択における判断基準 第一印象が対人関係に及ぼす影響	羽山智奈美 菊池直樹 池崎敦子 山本愛子 飯田耕司 林沙弥香 森田絹衣 寺尾哲明	人見知りと無気力傾向の関連性について	

自己評価についての一研究

幼少時に負ったトラウマと青年期の

人間形成の関連について

人間関係における交際方法の技能について

および、対人的魅力について

いじめとアダルトチルドレンの関係性

充実感と自尊感情との相関について

創造性と認知スタイルの関連について

家族機能と自我同一性の確立

父親と母親の養育態度が

子どもの性格に及ぼす影響

コミュニケーションにおける口調と

表情との間の関係について

信頼感と援助規範の関係

大学生キャリア・アンカーと

職業選択の傾向について

人はどんな時攻撃性衝動を持つのか

ジャニス・ジョプリン研究

与える刺激の差による印象形成の違い

映画論

高校生の学校適応感と自己効力感の関係

自己欺瞞の哲学的考察―精神分析を考慮して―

ソクラテス哲学について

ワイトゲンシュタインの哲学観について

坂井千寿江

伊東理花

水谷和泉

剣健一郎

愛甲祐也

菊池隆弘

古屋多佳子

国府正義

松井博史

古川絢子

平野達三

朴香珠

小島幸子

前澤幸代

関藤隆治

栗林靖彦

加賀崇嗣

東康仁

遠藤有真

若者のヘルスリスク行動について

貧困と思想

自己確定のプロセスにおける他人との関係

自由思想家・釈尊と法華経

哲学科(夜間主コース)

人生におけるキリスト教の意味と役割

私の幸福論

生への不安と死について

実践・愛の生活

信じられるもの

絵画にみる天使と悪魔について

手塚治虫私論

後期ニーチェ論

短歌に見る西田幾多郎の生涯と哲学

私の死生観

メルローポンティ哲学研究

私的『青色本』読解

セクシュアリティ私論

サルトルの実存哲学

ワグナーとニーチェ

コリン・ウィルソンの思想の発展

―『アウトサイダーから』

犯罪意識に関する発達的研究

武田圭史

大塚貴之

山坂竜行

山本純之

山中祥吾

稲垣歩

鈴木加奈子

横尾和歌子

廣瀬真純

飯島麻美子

佐藤健太郎

佐藤雄也

芳賀沼希

吉村純

國領佳樹

板橋智礼

石橋唯史

玉越仁巳

太田考重

加藤卓也

武山聡

幼児の記憶特性における一研究	岩崎 誠	マックス・ウェーバーの資本主義の精神をめぐって	安藤 正伸
テールコーディネートにおける配色効果について	赤堀 佳弘	美についての一考察	北 美砂子
援助行動と情緒的共感性について	川下 さおり	母親の満足度と養育態度に関する研究	宇野 頼子
自尊感情と被服関心度との関係について	名塚 豊	個人空間の一研究	村上 光晴
援助行動に関する一研究	高野 彩子	看護婦の労働意欲に影響する諸要因の研究	菅谷 たか子
自尊感情と対人不安感情との関連性について	相良 賢一郎	精神科デイケアにおける絵画と	菅谷 たか子
自己受容と生きがい感との関連性について	清水 のぞみ	精神状態の関係について	飯島 暁子
ラベリング効果に関する実験的研究	堀 重雄	尊厳のある死について	宮村 景子
自己意識と被服関心度について	岩崎 詠子	生殖医療技術の明と暗についての哲学的考察	當宮 吉智
スチューデントアパシーと	加曾利 晋也	遠藤周作におけるキリスト教理解について	黒沢 智治
人間関係の関連性について	堀 一郎	メルロ・ポンティの身体論	酒井 草平
広告表現による印象評価の比較研究	浦嶋 彩子	幸福論とあるということ	西林 直哉
アニマルセラピーの効用について	喜多見 学		
家族関係と抑うつ傾向との関連性について	小菅 英恵	<b>史 学 科 (昼間コース)</b>	
二重課題における処理資源の配分について	大谷 智子	関東地方における縄文時代の	
母親の養育態度と子どもの	山崎 幸子	翡翠製・琥珀製玉類の様相	中村 紗知子
パーソナリティ特性の関連性について	砂川 彩子	南関東における中世供養塔について	鈴木 一功
心理的ストレス過程とハーディネス	佐藤 仁美	源頼朝の奥州征伐	福本 直子
自己効力感と達成目標との関連性について	遠藤 文代	元朝の貨幣制	田畑 輝子
くヴィジランス・タスクを通してく	溝口 彰啓	満州国の「国民」の形成	笠松 久美子
うつ症状、身体症状及び		中世宇都宮氏と宇都宮明神	鈴木 美香
アレキシサイミアとの関連について		後漢政権の成立過程	村岡 翼
空間的認知能力における実験的研究		元禄期における尾張藩士の生活	迫野 航介
道徳とは何か		東日本における弥生時代の鉄器について	清水 明子

江川坦庵と海防論	高田 浩幸		
中世絵巻物に見る旅装	石川 奈央子		
英国における近代ジャーナリズムの成立	平塚 晃一		
東北地方における縄文時代の配石遺構について	石川 さやか		
古代東北出土の蔵手刀の基礎的研究	太田代 一彦		
北条早雲の領国支配	関口 千春		
明和九年の江戸大火の研究	道淵 佐知子		
米沢藩における寛政改革	宮坂 千鶴子		
関東地方における近世石造遺物の考古学的研究	石井 智子		
古墳時代における水辺の祭祀	佐藤 美紗		
鎌倉幕府の悪党対策について	長津 隆司		
イギリス女王エリザベス1世の外交	須山 梨絵		
鎌倉初期の公武関係	千葉 純子		
古代琴に関する考古学的考察	氏原 真琴		
九州地方における縄文土偶について	高橋 真愛		
始皇帝の東方巡狩	山内 麻子		
中原御殿の研究	笹尾 美香		
南関東における縄文時代の			
骨角製と貝製の生産用具	宮川 博司		
教育勅語公布後の社会的影響	八木 雅隆		
東北地方南部における縄文時代中期の土器様相	海藤 直行		
中世ドイツ東・北方地域における			
十字軍の導入について	小林 豊		
近世阿波藍の生産と流通	南山 暁子		
		ローマ帝政初期におけるキリスト教の進展	大城 健一
		本能寺の変の一考察	佐藤 康太
		藤田東湖の思想に関する一試論	嶋村 武志
		江戸の花見に関する一考察	君島 作
		関東地方における縄文時代の祭祀遺物	上岡 恭子
		近世における土道論	土橋 真
		明治六年の政変	小松 淳一郎
		日露戦争開戦に至る外交政策	曾我部 新
		明治初年における神仏分離の実態	仁科 陽子
		ユーゴスラヴィア、チトー体制における	
		社会主義の独自性	渡辺 直輝
		寄席の成立と展開	早川 奈穂子
		関東地方における土偶について	藤原 純子
		奥羽越列藩同盟の一考察	佐藤 誠一
		漢代の水利事業	藤村 哲
		広開土王期の高句麗	南部 俊介
		幕末維新期における勝海舟の政体論	三須 勝彦
		元の軍事機構	吉森 武史
		幕末水戸学の思想	国谷 博
		南北戦争における奴隷解放の	
		社会的・経済的意味について	寺田 信博
		江戸地廻り経済の展開	武内 美和
		江戸後期における庶民の食生活	石田 香月
		近世関東醤油の生産と流通	小松 孝次

文学部卒業論文題目一覧

秦帝国形成期の法制	深山千子	中国古代の廃仏	齋藤梨沙
平安時代の御霊信仰について	大塚 佐夜香	中国古代における仏像様式の変遷	依光 裕里絵
女帝即位に関する一考察	亀鶴 倫代	唐長安城の構造	加藤 華恵
関東地方における縄文時代の生業	熊谷 敦志	中国古代の家父長制	中野 優
初期明王朝政権の性格	長崎 通胤	桃山文化と茶の湯	宮本 美都
古墳時代における埋葬法についての一考察	山下 智香	ゲッベルスを中心とした	
中国古代の帝王観	佐々木 洋治	ナチス・ドイツのプロパガンダ政策	榎本 達也
江戸におけるごみ処理の実態	山崎 宜慶	小早川氏の家臣について	横井 治水
近代ハプスブルク帝国における民族問題	柿沼 裕二	中世イングランド、エドワード1世の対外政策	松本 尚紀
唐の対外関係	中村 雅一	古代東国における官衙遺跡	平出 宣幸
古代東国における煮炊具の基礎的研究	近能 のぞみ	明代の司礼監	加藤 英樹
院政期における僧兵について	小峯 佐知子	一九世紀イギリスにおける鉄道の発展	大塚 香
五世紀アイルランドにおける		大原幽学の教導仕法	高橋 千絵
キリスト教の布教について	児玉 慶人	東日本における古代製鉄遺跡	伊藤 弘一
鎌倉時代の武芸について	小濱 一道	大航海時代における奴隷船上での奴隷の境遇	峯尾 清華
古代東国集落出土の墨書土器	澁谷 修央	漢代における五行説	野田 昌志
墨子の思想とその意義	内田 勇樹	東日本における弥生時代の石器の様相	河戸 明奈
万治期の江戸城再建	山田 雅人	ベトナム戦争がアメリカ社会に与えた影響	山口 寛之
関東地方における縄文後・晩期の土製耳飾	花井 昌子	ドイツ国防軍と親衛隊によるホロコースト	福田 二郎
インカ帝国の統治政策	坂本 理恵	東国古墳出土須恵器の基礎的研究	大和田 瞳
古代エジプトにおける死後の世界観	引間 美幸	新選組永倉新八の研究	高田 恵理子
戦国儒家思想の展開	坂手 洋介	中世東大寺荘園について	高橋 賢司
中世東国の水上交通と湊	鹿田 耕太	土佐藩政と野中兼山	末久 堅士
	渡邊 和寿	中世の刑罰	大杉 しのぶ

朝鮮における皇民化政策	武井 寛	関東地方における縄文時代前期の集落構造	中田 達之
19世紀の中葉のイギリスにおける アイルランド人移民の役割	小日向 英治	アステカ文化に対するスペインの影響	前川 祐紀
中国古代の道教の展開	稲垣 健	古代中国の都市	神保 芳輝
東日本における弥生時代の石器	阿部 義弘	漢代の郡国制	遠藤 隆吉
中世における八幡信仰の研究	宮川 宗丈	ピラミッドから見た古代エジプトの宗教事情	三枝 武仁
東国国分寺造立に関する一考察	玉城 雄一	金代における道教の展開	魚路 誠
幕末武州一揆の一考察	丸山 暁	前後漢交替期の民衆反乱	宮木 まどか
豊臣氏の九州蔵入地について	大西 雄司	色彩感覚から見た古代エジプト文化の一側面	酒井 美緒
秦漢帝国期におけるオルドス	鈴木 好洋	織田信長の楽市楽座令について	森 達哉
北宋における皇帝「独裁」の成立	八文字 正亮	新撰組に関する基礎的考察	熊谷 仁美
ルイ14世のガリア主義に対する	黒川 知己	幕末における流行神「残念さん」 に関する基礎的考察	伊藤 義朗
ローマ教皇庁の対応	小野 合典	明治維新期における錦旗考案について	岩崎 泰和
東北地方における城柵官衙遺跡	小川 真史	19世紀ドイツとグリム兄弟	加藤 志津子
古代メソポタミアにおける神話と宗教	斎藤 陽一郎	足利尊氏評に関する基礎的考察	竹田 望
後北条氏の領国経営	土屋 ルミ	マヤ文明圏における	鈴木 大輔
平安時代における天皇と撰関	田島 初美	スペイン人の征服と宗教事情	杉田 誠
得宗専制政治と御内人	大久保 由佳	殷の祭祀	河野 譲
司馬氏政権の成立過程	大家 麻衣子	豊臣秀吉の京都改造計画について	岸 泰弘
産業革命期イギリスにおける民衆生活	石川 晃久	―御土居を中心に―	佐々木 直子
下野国における戊辰戦争		関東地方における埴輪祭祀	下田 栄治郎
		江戸時代の庶民信仰について	清水 昭紀
		シャクシャインの戦いの歴史的意義について	
		東日本における縄文時代の交易	

史 学 科 (夜間主コース)

関東地方における縄文時代の埋葬

小林 理恵



フェニキア人の交易活動 わが国食生活史上における	梅本 佐与子	室生犀屋 義経記の研究	佐藤 ゆう美
米食の位置づけについて	石川 圭一郎	柿本人麻呂歌を考える	後藤 充栄
三国時代における軍団の構成	浅利 武	宮本輝論―泥の河・螢川・道頓堀川の 三部作にみる作者の哀しみ―	丸山 由美子
ナチ体制下における青少年層の抵抗	原口 淳也	『雨月物語』攷	若林 花与子
十字軍に対する王侯・騎士階級の反応	小田 努	源氏物語―紫の上論―	佐藤 恵衣
『今昔物語集』に見る〈家〉について	佐々木 朱美	額田王について考える	成田 未希
蜀漢政権の人的構成	柴田 英樹	蜻蛉日記の研究	遠藤 まや
古代エジプト人の死生観	大場 澄恵	芥川龍之介	武藤 育美
関東地方における縄文中期集落の様相	有村 裕也	伊勢物語―恋愛・女性の描かれ方―	高橋 美穂
元首政成立期におけるローマの政治形態	長坂 隆司	宮澤賢治	佐藤 智美
中国古代の道教系教団の展開	宮崎 幸一	『伊勢物語』と『古今和歌集』 ―在原業平の恋愛―	里見 康弘
中世初期アイスランド社会の共和制	吉田 あい	日本語の単数と複数	酒井 千寿
城柵官衙遺跡の基礎的研究	根田 洋平	『夢十夜』論	秋元 匡子
日本による朝鮮植民地化政策	土屋 雅史	吉本ばなな	望月 智美
古代における弥勒信仰について	福田 怜子	平家物語の研究	並木 詩織
<b>国文学科(昼間コース)</b>		日本語の単数と複数について	中村 昭子
大津皇子を考える	高橋 明日香	夏目漱石―初期作品	鈴木 佐江子
出雲國風土記の研究	土井 徳子	日本語の単数・複数について	柴崎 香織
「七夕伝説」考	石坂 明紀	藤沢周平	墨田 泰輔
吉本ばなな論 ―「つぐみ」にみる死生観―	影山 千晃	百人一首論	伊藤 達也
大伴家持の研究	森 康弘	―百人一首と百人秀歌の違いについて―	新井 由子
日本語の単数、複数について	海澤 貴仁		

栄光と憂愁の両面から見る紫上の本質  
 志貴皇子の研究  
 平家物語の研究  
 三田誠広「いちご同盟」論  
 高村光太郎  
 藤原伊周論  
 能について  
 伊勢物語における在原業平の恋愛  
 —主に藤原高子について—  
 『パノラマ島奇談』論 —乱歩の幻想世界—  
 小川未明  
 『源氏物語』における美と醜の比較  
 『女殺油地獄』私論  
 遠藤周作  
 源氏物語論  
 今昔物語集の研究  
 藤原定家と小倉百人一首  
 萩原朔太郎の詩  
 『徒然草』における自然観について  
 大伴坂上郎女の研究  
 夏目漱石「吾輩は猫である」論  
 立原正秋『冬の旅』論  
 日本語名詞の単数と複数について  
 『吾輩は猫である』論

栗原 佐知子  
 峯岸 正至  
 山本 一美  
 川又 健二  
 馬島 清枝  
 尾崎 亜由美  
 志村 純  
 水野 幸江  
 太田 修  
 宮坂 こずえ  
 小野 美紀  
 笠原 馨太郎  
 松元 哲平  
 荻谷 直人  
 福満 昭久  
 新井 崇史  
 根岸 知子  
 関根 直子  
 大木 梢  
 新井 裕史  
 武井 芙美  
 山下 真奈津  
 中川 陽子

日本語の名詞の単数と複数について  
 『晩年』論  
 「銀河鉄道の夜」論  
 在原業平と光源氏の比較  
 日本語における名詞の単数と複数について  
 平家物語について  
 『奥の細道』論考  
 万葉集中における植物歌語表現  
 源氏物語の中の仏教思想  
 太宰治「富嶽百景」作品論  
 平家物語の研究  
 『紫式部日記』消息文的部分に見る紫式部  
 草双紙研究  
 古代伝承歌論  
 『百人一首』と撰者藤原定家についての一考察  
 日本語の単数と複数について  
 宮沢賢治  
 浦島子伝承の研究  
 武者小路実篤  
 日本語の単数と複数について  
 「お伽草紙」の研究  
 日本語の単数・複数  
 —日本文と英文を比較して—  
 源氏物語の「月」について

樫尾 章広  
 砂田 清  
 元廣 景子  
 川邊 崇  
 永井 智恵子  
 林 圭一  
 川名 啓子  
 田中 良太  
 岩谷 和枝  
 大谷 哲也  
 安田 志穂  
 星野 美奈子  
 瀬川 慶彦  
 松本 恵里子  
 松川 美穂  
 木村 大介  
 浅利 幸明  
 伊藤 ミカ子  
 江幡 直樹  
 山崎 博之  
 福山 雅之  
 石井 哲也  
 関根 史恵

日本語の単数複数概念	伊東伸泰
『雨月物語』私論	根本由里
「ドグラ・マグラ」論	矢郷伸弥
『平家物語』について	水谷有紀
紫式部の恋愛観	清水智浩
石垣りん	松本竜馬
遊行女婦論	高木繁
日本語の名詞の単数と複数について	狩野日和
古事記神話の研究	福島千恵
隆 慶一郎の時代小説	田村康人
『優駿』論	曾我部隆一郎
日本語の単数と複数	齋藤智紀
日本語の名詞の単数と複数について	清水健太郎
日本語の単数、複数について	榎本貴行
大伴家持の研究	松本かをり
『人民は弱し官吏は強し』における星新一論	中井寛文
日本語の名詞の単数、複数について	武藤義明
川端康成「雪国」論	小林誠也
村上龍「限りなく透明に近いブルー」論	田沢悠司
『雨月物語』における秋成の女性観	倉持有子
柏木論―源氏物語での意義―	志儀由美子
『あすなろ物語』論	大塚彰史
中世文学と陰陽道について	田中多美
川端康成の文学	榎原由記彦
本阿弥光悦の研究	三浦聡子
高村光太郎と智恵子	高橋裕美
川端康成の恋愛表現	布川剛
『源氏物語』における女の出家について	
―紫の上・女三の宮を中心に―	
児童文学者・安房直子の世界	高橋史子
源氏物語における花散里の存在	櫻井香織
平家物語について	小林麻由実
石川啄木	花野繭子
江戸川乱歩	木村浩士
『女殺油地獄』論	島田容保
近松世話浄瑠璃研究	柴崎弘基
朋誠堂喜三三論	富澤優古
藤原実方朝臣論	井上裕子
『心中天の網島』における義理	杉本祐子
―アクセント・形態・語法・意識の観点から―	阿部由美子
徒然草の研究	水谷美保
斎藤茂吉の文学	磯又大輔
日本語の単数と複数について	倉又厚
平家物語について	下重孝一
三島由紀夫	横山則雄
日本語の単数と複数について	立石奈々子
寺山修司	内田麻美子
	脇田沙知子

『源氏物語』論

蜻蛉日記の主題について

坂口安吾「桜の森の満開の下」論

高市黒人研究

志賀直哉・『或る朝』論（志賀文学の確立）

大江健三郎の『青年論』

太平洋戦争中の日本文学

日本語の名詞の単数と複数について

古事記神話論

中世文学と仏教について

宮本輝

万葉問答歌論

宮沢賢治『風の又三郎』論

『源氏物語』における「鬼」の役割について

安部公房『砂の女』論

芭蕉発句の滑稽性

舟橋聖一『鷺毛』論

古事記神話研究

住井する「橋のない川」論

中原中也の世界

澁澤龍彦の幻想世界

深沢七郎「楳山節考」の構造

星新一作品におけるエヌ氏とアール氏論

石川啄木

柳 真由美

長谷川 雪野

湯浅 奈美

鈴木 大介

武藤 隆敬

村岡 いづみ

石原 剛

海老原 佳治

新井 智子

寺田 恵美

矢萩 千穂

横堀 啓悟

東堂 誠

菊地 博文

勝澤 理恵

佐藤 博行

鈴木 健史

志村 圭一

牧岡 健

永見 太紀彦

川上 公望

菊池 俊輔

堀井 海太郎

堀江 政弘

国文学科（夜間主コース）

立原道造

小林一茶論

島田莊司

田中恭吉

『女殺油地獄』論

『雨月物語』私論

『和泉式部日記』構成論

古代風土文学論

品川区・大田区を中心とした言語調査

万葉植物表現論

横溝正史

万葉集挽歌論

宮沢賢治

芥川龍之介

失われた世界（小川洋子）

建礼門院右京大夫集の研究

杉田久女

宮崎県佐土原町に於ける言語調査

武者小路実篤

平家物語の研究

大須賀 英二

田邊 大陽

高橋 環

小山 一正

橋本 健

山入端 智香

椎名 知子

青木 淳

尾崎 雅行

原田 大輔

富澤 健

坪井 智恵

篠井 雄樹

立山 雅一

山口 篤志

重松 洋子

佐野 光子

湯村 光介

南雲 武烈

小嶋 貴文

英米文学科(昼間コース)

シャーロックホームズの世界	川口浩司
イギリス文化の一考察	丸山麻世
オスカー・ワイルドの童話研究	松本宗幸
イギリスの大学について	寺田美貴
—英・米・日の大学比較研究—	
Truman Capoteの“OTHER VOICES, OTHER ROOMS”の研究	日景裕子
ヘミングウェイについて	平林直也
ウィリアム・スタイロン研究	黒澤望美
Edgar Allan Poe 研究	村山幸絵
—特に詩を中心に—	
シェイクスピアの生涯	小島亜希乃
—シェイクスピアの作品を交えて考える—	
英語をわかりやすく教えるには	米沢卯之
Ernest Hemingway 研究	長岡勝美
—特に『老人と海』を中心に—	
日米文化比較論	湯浅美穂
『赤毛のアン』について	高橋真利子
シェイクスピア研究	野上真澄
旅行文化 —旅行先で触れられる文化と文学—	小田五郎
日米文化比較論	髭田沙央里
日本における英語教育の歴史と変化	長井雄太

O. Henry 研究

—その文学的評価をめぐって—	手塚美和
『若草物語』研究	五箇恵子
Comparison of Japanese and English Expressions	山崎貴胤
George Orwell 研究	福田朱音
—特に <i>Animal Farm</i> を中心に—	
英語学習のあり方	小島崇司
—英語学習における文法と会話に関する考察—	
アーネスト・ヘミングウェイ研究	和久津晃紀
Alice Malsenior Walker 研究	山口祥子
—特に <i>The Color Purple</i> を中心に—	
シェイクスピアの作品研究	山崎絢子
—『ハムレット』を中心に—	
チャールズ・ディケンズの研究	本間大輔
オスカー・ワイルド研究	木谷幸子
ポール・オースター研究	五神ゆかり
ジェーン・オースティン研究	山本果林
『風と共に去りぬ』 —原作と映画を通して—	
—スカーレットの人生を探る—	
オスカー・ワイルド研究	田端美香
マーク・トゥウェイン研究	佐藤香織
—『人間とは何か』を中心に—	
シェイクスピアについて	江原与治
	島村英夫

アーネスト・ヘミングウェイ

特に『武器よさらば』を中心に

山口慶典

ミルトンの生涯と人生観における文学のあり方

―彼をめぐる作家たちとその歴史的背景―

牛山美佳

ポール・オースター研究

―特に『幽霊たち』を中心に―

菅野智洋

Nathaniel Hawthorne 論

オスカー・ワイルド研究

西川由希子

シェイクスピア四大悲劇の比較と研究

性文化論

オスカー・ワイルドの研究

高橋睦子

Ernest Hemingway 研究

オスカー・ワイルド研究

吉田茂樹

ロバート・ルイス・ステイヴンソン研究

―『宝島』を中心に―

福嶋栄理

文学的 sexuality の研究

日本文学の英訳に関する一考察

鈴木康大

―宮沢賢治の作品を中心として―

アーネスト・ヘミングウェイ研究

平沢純子

一九二〇年代のロスト・ジェネレーションの作家について

―スコット・F・フィッツジェラルドを中心に―

坂入圭祐

テネシー・ウィリアムズ研究

―特に『欲望という名の電車』を中心に―

竹内猛

オスカー・ワイルドについて

福嶋恵

テネシー・ウィリアムズ研究

―その時代の歴史観―

馬場裕一

児童文学について

O. Henry 研究 ―その生涯と作品論を中心に―

伊藤雅子

アメリカ文化について

イギリスの童話世界 ―童話の比較研究―

杉山麻実子

James Baldwin 研究

テネシー・ウィリアムズと

小園江まゆ

『欲望という名の電車』について

オスカー・ワイルド作品研究

宮澤真衣

シェイクスピアについて

Hemingway とその他の Lost Generation

笹川智司

の作家達について

英語教育について

ポール・オースター研究

坂本雄一

アーネスト・ヘミングウェイ研究

Jerome David Salinger 研究 ―The Catcher in the Rye

野口雅俊

の中のリアルな若者の心理を中心に―

スウィフトと漱石

室谷陽子

―あまのじゃくとなって社会を見る楽しみ―

オスカー・ワイルド研究 ―オスカー・ワイルドの

渡邊英典

人生と代表作品の関連―

日本の英語教育の現状について

田中大介

ヘミングウェイ研究

吉田雅人

菅野智洋

テネシー・ウィリアムズと

河原亮

西川由希子

高橋睦子

吉田茂樹

高橋睦子

坂入圭祐

鈴木康大

福嶋栄理

平沢純子

福嶋恵

L.M. Alcottの世界	池上 紗織	F. Scott Fitzgerald の "The Ice Palace" と "The Jelly Bean"について	田中 勲
ジョージ・エリオットの研究	鈴木 雄	ジョン・スタインベック研究	浅海 蘭
シェイクスピア研究	増田 尚憲	マーク・トゥエインについて	小山 修平
A・コナン・ドイル研究	鈴木 一弥	アガサ・クリスティーの研究	峰岸 理恵
アメリカ文化における		オー・ヘンリー研究	岸 由晴
インディアンの歴史と特徴について		文学者、芸術家の詩、名言について	大川 瞳
比較言語研究 — 方言と外国人 —		Nathaniel Hawthorne 研究	
オスカー・ワイルド研究	池田 稔	— The Scarlet Letter を中心に —	館野 智美
One Arm の世界 — "THE ANGEL IN THE ALCOVE" を中心に —	堀口 貴行	ヘミングウェイ研究 — 「老人と海」における、 老人のモデルと物語のなり立ち —	川和 慎治
ヨーロッパ文化について	井上 幸子	ジョナサン・スウィフト研究	村野 貴史
『ハムレット』研究		アメリカ・ルネッサンスの文学研究	
— 作品内における作者の処世観について —	河内 桜	— Nathaniel Hawthorne とその周縁について —	岡島 志穂
サリンジャー研究 — 自意識から生まれた狂気 —	山下 晃司	日英文化比較	高木 裕子
Nathaniel Hawthorne 研究		舞台演劇の枠組からみたシェイクスピア研究	
— The Scarlet Letter を中心に —	黒子 清美	— 「ハムレット」における舞台演劇のおもしろさ —	福田 恵
オスカー・ワイルドの研究	中沢 充弘	日本人とアメリカ人の感性の違い	井上 隼人
アメリカの野球と文化のつながり	嘉志摩 優作	Mark Twain 研究	武上 浩幸
Nathaniel Hawthorne 研究		ブロンテ姉妹について	中沢 愛子
— The Scarlet Letter を中心に —	鈴木 沙織	シェイクスピア・リバイバル	
Shakespeare 研究	折原 麻美	— ピーター・グリーナウェイの『テンペスト』 —	鳥澤 雄一
Charles Dickens 研究	大瀧 聡美	アリス・ウォーカー研究	川平 由紀子
オスカー・ワイルド研究	藤井 俊之	現代文化比較から考える	富田 周平
F. Scott. Fitzgerald 研究	白石 朋之		

オスカー・ワイルド研究

— 童話作品からみたワイルドの人間性 — 川瀬 絵美  
日米比較文化論 — 日本とアメリカのプロスポーツ

から見る2か国間の文化の相違・比較 — 小林 義之

英語教育 — 中学校における英語教育 — 藤井 徹

「食」における日米文化比較 堀川 亮

Mark Twain 研究 山田 宜弘

これからの英語教育 本間 保

コナン・ドイルの研究 小野 隼人

コナン・ドイル『四つの署名』について 渡邊 俊之

アメリカ文化論 — 人種差別問題を中心に — 鈴木 絵美

『ロシオとジュリエット』 宮田 薫

— 映画からみる原作との表現比較 — 小松原 香

生徒の興味をひく英語教育の在り方 櫻井 美枝

日米における教育の比較 櫻井 美枝

— 外国語教育を中心に —

*Alice's Adventures In Wonderland* 四宮 康代

— Alice の住む街 — 市川 貴洋

Ernest Hemingway 研究 斎藤 由紀子

日本における英語教育論 鈴木 利治

Ernest Hemingway 研究 鈴木 利治

シェイクスピア研究 小方 邦彦

— シェイクスピアの生涯と歴史的背景 — 山田 昌伸

アガサ・クリステイヤー研究 山田 昌伸

赤毛のアンの世界

Henry James 研究

チャールズ・シュルツ研究

英語教育論

William Shakespeare 研究

アメリカ文化論

『嵐が丘』研究 — それぞれにみる愛のかたち —

イギリスの音楽文化

ヨーロッパの文化について

日常英会話と日本の英語教育について

アガサクリステイヤー小説に見る

近代英国文化の一考察

近代イギリス文学の研究

— キリスト教精神から見たイギリス文学 —

国際化社会における英語教育のあり方

ジェイムズ・ジョイス研究

— 彼の人生背景と「ダブリン市民」の関係性 —

Edgar Allan Poe 研究

— 推理ものを中心に —

リア王の孤独と情性

日米文化比較

シェイクスピア研究

— 『ハムレット』を中心に —

日本文化と異文化について

穂垣 聖子

笠井 周太郎

山崎 圭子

嶺田 希

尾城 賢一

岩森 涼子

安食 真理子

竹之内 建治

小森 裕子

田端 真吾

鈴木 文敏

岩本 光市

西山 敦子

西山 敦子

西尾 藍子

西尾 藍子

片島 千春

中川 淳

佐藤 久美子

佐藤 久美子

三浦 俊介

三浦 俊介

熊倉 美沙子

熊倉 美沙子



文学部卒業論文題目一覧

チャールズ・ディケンズ研究	渡邊友子
オスカー・ワイルド研究	常盤周平
中世英文学における騎士	
— 中世騎士道研究 —	仲本理則
ウィリアム・フォークナー研究	
「サンクチュアリ」を中心に	中澤良比古
ヘミングウェイ研究	末吉南平
童話作品から見たO・ワイルド論	土子朋子
アーネスト・ヘミングウェイ研究	
— 『武器よさらば』を中心に —	折原淳之介
Shakespeare 研究	江崎英樹
スタインベック研究	笹澤史紀
現代アメリカ文学考	
— 一九八〇年代以降の文学的変遷について —	杉森幸司

英米文学科(夜間主コース)

シャーロック・ホームズ研究	木村規之
ディケンズ研究	櫻井奈美江
トルーマン・カポーティ研究	
— 特に『冷血』を中心に —	大樂貴美子
シェイクスピア研究	養田徹
ウィリアム・フォークナーを中心に	
— 黒人差別について —	宇野智
英米の比較文化論 — イギリスとアメリカにおける	

社会学科(昼間コース)

スポーツの発展の違いについて — J・D・サリンジャー	伊藤史人
『ナインストーリーズ』と禅について	中光伸治
チャールズ・ディケンズ研究	大竹健一
ナサニエル・ホーソーン研究	竹村恭一
Hemingway 研究	諏訪泰則
Samuel Taylor Coleridge 研究	藤田康仁
— 特に <i>Christabel</i> を中心に —	
ユダヤ人国家とパレスチナ問題	玉井貴志
戦争報道の実態と日本人	原田奈緒美
大都市鉄道交通論	
— 東京都圏を中心として —	久保市大助
遺伝子技術の社会的背景と社会的影響	原田基紀
高齢社会の研究	市橋麻衣子
メディアによるスポーツの	
社会的位置づけの変化	池田大将
結婚と男女それぞれの戦略の社会学的考察	野本佳奈
社会階層と犯罪との関連性	小島光弘
フェミニズムの視点から見る	
女性の労働について	吉田あゆみ
高齢者の生き方について	飯島由佳

現代日本官僚制における特性

としての私的空間の侵食

高齢者の生きがいとそれを取り巻く生活環境

ニューメディアの発達と若者の

コミュニケーション能力低下について

パラサイト・シングルの諸問題

社会変動と少年犯罪の増加の相互関係

少子化問題

日本人論の変容と文化ナショナリズム

台湾における対日意識と国民形成

地域福祉と地域開発

女性のライフコースの多様化による

家族の変化と問題

児童虐待における母子関係と社会の役割

政治・行政改革と国民

時代と歩む広告

少年犯罪防止における家族と支援者の役割

日本人の日常生活と日本の犯罪発生率との関係

創造―老いと自己発見―

出身地が若者の意識に及ぼす影響

子ども達の「荒れ」と家族との関係

報道は社会の鏡か

島根県における農業の将来展望

現代日本の犯罪情勢とその社会的背景

倉浪孝明

渡邊暁子

森 祐一郎

藤井えり子

青木直也

小澤靖之

棚木大地

片岡 豊

清水宏美

荒木 恵都子

阿久津 春奈

西川 剛司

清塚 晶子

津山 宏子

小川 千里

曾我 悠

田中 早苗

平沢 真一

大隅 聖子

持田 明洋

渡辺 ゆう子

軽犯罪の防止策

スポーツファンの社会心理

音楽ビジネスと著作権ビジネス

活字メディアによる情報伝達

～女性誌を中心にして～

暴力排除運動から考察する逸脱的生活

アイルランドの民族と文化

現代社会とスポーツ

現代家族にみる父性の重要性

民主主義におけるマスコミの存在意義

市町村合併論

青少年の時間意識の変化

国際社会におけるテロリズムとその展開

日本とアメリカのジャーナリズム

死刑制度をめぐる国際的動向

地域社会の非行抑止力

現代広告の構造と機能

都市防災論

高齢者の生活と介護の役割

東京の通勤問題

ストーリー問題の解剖

ひきこもり生活者を取り巻く

社会システムと家族関係

主婦と住まい

木村英明

奈良一輝

互野裕子

遠藤由美

松戸梨絵

石橋将樹

菅沼久登

井上佑樹

渡辺将士

工藤直人

井坂友美

池上聡一

目黒雄一

齋藤俊幸

梅沢亮太

石田 努

上村 貞晴

井上 徹

大柴 大

太田 真由子

野沢由香

篠原美起

文学部卒業論文題目一覧

親子のコミュニケーション不足がもたらす子どもへの影響	菊地 瑠美	現代日本演劇におけるセグメント化された観客層の研究	秋谷 哲
家庭環境と子供のパーソナリティ	相川 美和子	特殊な殺人事件における人間関係	中村 智信
開発問題の公共性と受益圏・受苦圏	新井 裕子	戦後家族における女性の役割の変遷	大御 麗乃
学生サークルにおける集団目標と学生意識	平 幸	過疎地域の諸問題	荻野 幸恵
流行を追い求める若者の心理について	永井 真利子	都市の犯罪	小池 由紀子
資本とサブカルチャー	鈴木 晶	広告の社会的効果について	永沼 純
携帯電話の社会学	草野 友和	テレビゲームが社会に与える影響について	山口 裕也
現代社会における職業観	山本 真由美	いじめの研究	荒木 崇秀
集団における「ちから」の作用に関する		ニューサイエンスと現代若者の意識	梅木 悠祐
社会心理学的研究	小幡 文代	現代日本における抑圧的慣習の弱体化と自己実現の研究	大熊 雅樹
なぜ、若者は「渋谷」に魅せられるのか	堀江 慎士	都市計画の社会学	竹内 清之
老いを看るとは	岩下 千里	廃棄物処理問題	久保田 麻美
少年犯罪の現代的特徴とその社会的背景	安井 奈採	少年犯罪におけるメディアの影響	出原 宏平
都市の生活環境	富岡 誠	自己存在確認と少年犯罪	色川 伸弘
保育所の増加と母親役割の変化	氏家 英恵	民間の被害者支援活動	松田 八千代
アイヌ民族と外社会	関川 真紀	高速鉄道と地域社会	
人間らしさの探求		〈埼玉高速鉄道を中心として〉	金田 真和
〈日本とアジア諸国を比較して〉	千葉 陽子	家族の役割について	小田部 公樹
少年犯罪の抑止力	湯本 恵子	靖国信仰と日本近代	大津 至時
少年非行の動向とその社会的背景	内堀 篤	犯罪被害者の現実と救済	蜂屋 達朗
映像・活字メディアとそのおよぼす効果	昼間 伸一	グローバル社会がもたらす民族	
ユーゴスラビアの民族紛争	折笠 充洋	アイデンティティの独裁	矢島 裕実子

薬物問題

パーソナル・コミュニケーションによる意志決定の

優位性からみる同調行動の研究

道の駅による交流型の地域づくり

報道の社会的任務

宗教団体の起こした事件とその発生要因

情報メディアと競馬イメージ

リーガ・エスパニョーラにみる民族対立

都市コミュニティの歴史の変遷と環境問題

市町村合併の諸問題と地域活性化

自動車交通論

いじめの構造を規程する学内要素と学外要素

情報操作の過去と現在

日本社会における外国人の「行為と演技」

高齢者の生きがいと社会とのかわりについて

高齢者福祉施設の現状と課題

日本の近代化と軍隊

日本におけるプロ野球の地位

情報空間の研究

コンビニエンスストアの社会学

祭りから東京ディズニーランドへの

統合機能の委譲とその変質

快適空間の研究

大澤 真弓

鈴木 数正

板橋 裕里子

竹下 隼人

信太 公仁子

久本 剛正

古市 達也

西 由華

櫻庭 しのぶ

松岡 孝昌

木部 倫典

三須 謙一

増野 響子

関沼 昌子

菊池 智美

堺 麻規男

中屋 州策

石亀 憲

高野 勇一

大谷 健一

藤河 徳紘

性役割構造の機能変容と異性印象における

独立性の研究

生活時間の研究

被災者コミュニティの研究

—阪神淡路大震災を中心に—

少年犯罪から考える現代家族の問題点

家族変動と子供のしつけの変化

音楽の流行現象と時代の流れ

高齢者問題

若者における宗教意識の変容

社会学科(夜間主コース)

「仮面家族」と児童虐待

地域性と人間の生活—東京と地方の比較から

スポーツ界におけるカリスマと

その影響力について

日本人の労働形態の変化

ラベルを貼られた逸脱(非行)

少年の社会的地位

児童虐待の社会学的考察

女性の意識の多様化と少子化対策

生殖技術の発展と家族

西へ拡大する都市新宿

集団における日本人の行動様式について

下山 郁恵

小椋 学

照井 久美子

丸山 悠子

福田 真希

畠山 登志子

亀田 美夏

高橋 和幸

萩原 さちこ

仁野 玄太

長尾 守男

森野 勝治

柳 加代

春城 舞子

阿部 ゆき子

永倉 史猛

鈴木 薫

近藤 優子

文学部卒業論文題目一覧

タバコと人間と時代	宇津呂 哉	個性の喪失と流行社会の現状・未来	渋谷 聡
自己実現欲求の現実化としての			
住民参加活動の展開			
日本人の死生観	浅野 良太	地理学 科(昼間コース)	
尊厳死 「人間らしい死」とは何か	石井 真理	大崎駅東口地区再開発による景観の変容	山田 大輔
日本の少子化問題 その将来の展開と影響	小坂 一仁	東京都区部と多摩地域(日野市、多摩市、府中市)の	
社会的ひきこもりに関する考察	和田 恵	清掃事業(ゴミ処理)の自治体間比較	伏見 耕太郎
児童虐待をめぐる考察	下条 健一	横浜市の緑地の地域的特徴	山田 慈康
—現代社会と家族のあり方—	大高 陽一	門前仲町商店街の変容	霜山 貞治
アメリカにおける黒人解放運動	山内 博人	前橋市における都市機能の郊外流出と	
近代化と催眠術	大阿久 良	中心部の空洞化について	廣川 崇史
家族の虐待と国の政策	和田 翼	地理学 科(夜間主コース)	
高齢化が引き起す家族問題	永代 こゆる	福島市の中心市街地における考察	及川 秀朝
生涯学習とテレビジョン	小山 剛	東武沿線地域の発展と経過	斉藤 弘
映像メディアが少年に与える影響	和合 修平	東京湾アクアライン開通に伴う南房総への影響	川名 真珠
自己組織性としてのファッションにおける		戸田漕艇場周辺の土地利用変化	小澤 みづほ
流行現象の研究	中島 一樹	関東地方における日帰り温泉地の発達と展開	丸山 達弥
現代日本人の余暇と旅行の在り方	大和田 智一	新副都心錦糸町の景観の変容	小野寺 隼一
六〇年代カウンターカルチャー研究	遠藤 恵二郎		
日本における生命主義の潮流と展開	小林 園		
ゴミ社会ニッポンの再生	橋口 兼太郎		
地域社会における子育て支援	鈴木 淳子		
距離化の概念と第3の			
カテゴリーをめぐる問題	染井 奈尾美		